

## 近畿大学病院小児科で未熟児網膜症に対する治療を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

近畿大学病院小児科（以下、当科）では、「未熟児網膜症治療時に早産児が受ける全身への影響についての研究」という臨床研究を行っています。そのため、当科で未熟児網膜症に対する治療を受けられた患者様の診療情報を使用させていただきますので、以下の内容を確認してください。なお、この研究は、近畿大学医学部倫理委員会 (<https://www.med.kindai.ac.jp/rinri/index.html>) で審査・承認を受け、医学部長による実施の許可を受けて行われます。

### ① 情報の利用目的及び利用方法

この研究では、網膜光凝固（レーザー治療）と抗 vascular endothelial growth factor（VEGF）モノクロナール抗体の硝子体注射による治療（抗 VEGF 治療）の2種類の異なった治療時の全身状態に及ぼす影響の違いについて調べることを主な目的としています。そのため、当科で未熟児網膜症に対する治療を受けられた患者様のうち、2006年4月から2021年12月末までに当院 NICU に入院した、出生体重 500g 以上、在胎 24 週以上で出生した方を対象として、診療情報のみを研究に利用します。利用する情報は、患者様個人が特定されないように匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。なお、それらの情報を他の機関へ提供することはありません。

### ② 利用する情報の項目

- カルテ情報（性別・既往歴・併存症、呼吸補助の有無及び方法、受胎後週数、日齢、治療を受けたのが片眼か両眼か、治療中の呼吸補助の要否、治療時の鎮静の有無、鎮静の方法、治療所要時間、治療後の呼吸補助継続時間、経腸栄養再開時間、）
- 各種検査結果（血液検査：白血球数、CRP、AST）

### ③ 利用する者の範囲

近畿大学医学部

研究責任者：和田紀久 小児科・臨床教授

研究分担者：永谷奈央 小児科・助教

小西悠平 小児科・講師

荻野加菜 小児科・助教

小谷有紀 小児科・助教

國吉一樹 眼科・准教授

日下俊次 眼科・主任教授

杉本圭相 小児科・主任教授

### ④ 情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

近畿大学医学部

⑤ 研究対象者の求めに応じて、研究対象者の情報の利用を停止すること

この研究では、患者様・ご家族様の診療情報が利用されることに同意できず、拒否されたい場合に、下記の方法により、いつでもその利用を停止することが可能です。また、利用の停止を受け付けた場合でも、その後の診療において一切の不利益を受けることはありません。

⑥ 上記⑤の求めを受け付ける方法

下記までご連絡ください。なお、この研究に関するすべてのお問い合わせも下記で受け付けます。

**[お問い合わせ先]**

近畿大学病院小児科 和田紀久

電話：072-366-0221 FAX：072-368-1566

以上